

令和7年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価（月 日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	○柔軟で多様な学びの システムを活かした 教育活動を推進す る。 ○学ぶ大切さと、学ぶ 楽しさを経験させ る。	①個別学習支援制度を充実 させ、課程間併修等の多 様な学びのシステムの有 効的な活用を目指す。 ②課程や教科の特性を生か し、ICT機器やBYOD回線を 利活用した授業展開を考 え、組織的な授業改善を 研究する。	①課程間併修等の多様な学 びのシステムの有効的な 活用について検討する。 また、令和8年度入学生 用教育課程の改善に取り 組む。 ②課程や教科の特性を生か したICT機器やBYOD回線 を利活用した授業展開を 考え、組織的に取り組 む。	①課程間併修等の多様な学び のシステムの有効的な活用 ができたか。 令和8年度入学生用教育課 程の編成が適切に行えた か。 ②課程や教科の特性を生かし たICT機器やBYOD回線を利 活用した授業展開を考え、 組織的に取り組むことがで きたか。					
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	○誰もが自分らしく過 ごせる安全・安心な 学習環境を実現す る。 ○生徒の主体的な活動 を充実させ、協働す る力と自己肯定感を 養う。	①安全安心な学校生活を目 指しながら人権意識を高 めると同時に教育相談と 支援体制の充実を図る。 また、命を大切にする意 識を高める。 ②早期における自己の将来 設計を通して、生徒一人 一人が日々の学習や活動 に意欲的に取り組めるよ う支援する。	①基本的生活習慣の定着と 規範意識の向上を図ると 共に、生徒情報の共有と SC・SSWの活用を促す。交 通安全に関する知識の構 築と交通安全教育の充実 を図る。 ②生徒の進路目標の実現に 向けた主体的な活動を支 える。	①生活上の問題行動やマナー 違反が減少したか。また、 生徒情報の共有とSC・SSWの 活用がうまく行われたか。 交通安全に関する意識が向 上したか。ヘルメットの着 用率の向上や、交通事故の 減少がみられたか。 ②生徒の主体的な活動を支 えられたか。					
3	進路指導・支援	○高校生活の意義を明 確化し、キャリアを 適切に形成していく ための支援を行う。 ○複雑化する進路選択 に対応しうる相談体 制を構築し、進路希 望を実現する。	①早い段階から職業理解を 深め、段階に応じた進路 指導を行うことで、社会 の変化に柔軟に対応で き、多様な勤労感・職業 観を持った生徒を育成す る。 ②高校生活を社会的移行の 準備期間と位置づけ、将 来設計を通じて学習意欲 を高め、学習の習慣づけ を促すとともに、生徒一 人一人に丁寧な指導がで きる環境を整える。	①看護体験などの職業体験 やインターンシップへの 参加を通じて、実際の仕 事を体験させたり、OB・ OGと接触する機会を持た せたりして、早期の職業 観の育成を目指す。 ②生徒が自分の興味や強み を理解するための性格診 断や興味関心テストを通 じて自己理解を深め、ま た定期的に目標設定とそ の達成度を振り返る時間 を設ける。	①職業体験の場である1日看 護体験やインターンシッ プ、「仕事のまなび場」な どの募集周知を適切な時期 に行い、必要な生徒が利用 できる環境を整えたか。 ②早い段階で適性診断などを 実施することで、3者面談 等でフィードバックを行 い、また進路カルテを利 用して自己の目標設定から実 行・反省を行うことができ たか。					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ○社会に開かれた教育課程の実現に向けて、地域等と連携した教育活動を推進する。 ○学校の魅力・特色の校外への情報発信を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①地域貢献活動を推進し、地域への情報発信を行うとともに、地域との相互理解を深める。 ②柔軟で多様な学びのシステムをわかりやすく情報発信していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ①クリーンウォーク等の地域貢献活動を通して、地域とともに、地域へ学校の教育活動を発信する。 ②課程間で連携しながら、ホームページ等の情報発信を充実させ、説明会等を三課程で連携しながら取り組めたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ①クリーンウォーク等、地域連携活動を実施し、地域に学校の教育活動を発信できたか、またその活動により地域と連携できたか。 ②ホームページ等の情報発信を充実させ、説明会等を三課程で連携しながら取り組めたか。 					
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が安全・安心に学校生活を送れるよう教育環境を整備する。 ○教員の働き方改革をさらに進め、教育活動の充実につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒の教室等に対する「使う前よりきれいにして戻す」意識を醸成する。 ②生徒の居心地の良さにつながる教育環境の整備を進める。 ③学校のミッションを踏まえつつ、働きやすさと働きがいの両立をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> ①学校行事や年次行事を実施した際の環境委員会を核とする生徒の美化活動を推進する。 ②20周年記念事業とタイアップした教育環境を整備する。 ③衛生委員会の定期的な活動と、職場環境改善シートを活用し、働きやすい職場環境つくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①スポーツ大会・文化祭・年次レクで使用した場所・施設はきれいに復元されたか。 ②購入整備した備品や消耗品の活用実績と授業などでの生徒の生活様相の変化があったか。 ③衛生委員会が機動的に活動できたか。また、職場環境改善シートが効果的に活用される等により、働きやすさ、働きがいについて職員の感じ方に変化が見られたか。 					